

たいにい・ぼっくすつうしん

Vol.115

令和6年
10月15日

事業開始に地域説明は必要ですか？

少し前の話になりますが、今年1月、横浜市都筑区でグループホームの開設を試みたものの、地域住民の反対により事業を断念したというニュースがありました。

「運営反対」ののぼりが隣接地に揚げられ、地元の自治会長からグループホームの運営説明を求められたことから2度（2018年12月、2019年1月）にわたって説明会を開催したとのこと。出席者からは「不動産価値が下がるのでは」などの声上がり、説明会後には、「住民の安全を守れ」「地域住民を無視するな」と拡声器を使用した反対運動が繰り広げられました。さらに、運営側の弁護団によれば、市から「このような状況でホームの開設は難しい。やめた方がよい」という指導を受けたと主張しています。

グループホームに限らず、障がい者関連施設の建設を巡る反対運動は、全国各地で発生しています。手を繋ぐ育成会が2020年に実施したアンケート調査によると、過去10年間に建設された障がい者関連施設について、回答数356件のうち90件、つまり全体の25%で地域住民からの反対があったと報告されています。また、説明会を開催した結果、反対運動が激化し、逆効果になったという意見も出ています。

当法人は、事業開始に際して説明会を開催しておらず、今後もその必要は感じていません。仮に地域住民から説明責任を求められたとしても、その責任は市長や県知事が果たすべきではないでしょうか。県知事は、「ともに生きる社会かながわ憲章」を掲げ、障がい者が地域で生活できる環境こそが必要であると強調しています。施設での生活を否定し、グループホームなど地域での暮らしを推進する考え方は、世界的な潮流にも沿っています。このような反対運動は、障害者差別解消法に抵触している可能性があり、問題解決に向けてさらに力を尽くしてほしいと強く願います。

これは、津久井やまゆり園事件が発生した神奈川県での話なのです。

たいにい
のようす

写真掲載欄のため、削除しております。

茶話会について（お知らせ）

2ヶ月に1回程度開催されている茶話会について、これまで休日に行っていましたが、今回は平日に開催する試みを行います。また、具体的なテーマを設定し、それに関する資料も取り揃えます。“茶話会”は保護者主体の会にしたいと考えていますので、次回の集まりではその点について皆様のご意見をいただければと思います。ぜひご参加ください。

日時：11月22日（金曜日） 10時～

場所：たいにい・ぼっくす あさひ（相模原市南区旭町13-13）

内容：会の位置づけ、アンケート結果について、業務マニュアルの公開 等

※車でお越しの際は事前にお知らせください。

11月の予定
カレンダー作り
（製作活動）

11月 休業日

2日 3日 4日

9日 10日

16日 17日

23日 24日

30日

